

「これを読んでくださいよ。そして、啞然としてください」

配達あかずきん 成風堂書店事件メモ



大崎 梢（おおさき こずえ）／著
東京創元社 269p F/才

ある駅ビルの中にあるごくごく普通の書店・成風堂。そこに勤めるしっかり者の書店員・木下杏子と、勘の鋭い大学生のアルバイト店員・西巻多恵。このふたりが、書店を舞台にした数々の謎を解き明かしていく。元書店員である作者が紡ぐミステリ小説。

「生徒の成長にかかわることができるのが、学校司書の喜びかな」

しごと場見学！ 書店・図書館で働く人たち



戸田 恭子（とだ きょうこ）／著
ペリカン社 153p 02/ト

私たちが日々の暮らしの中で利用する場所や施設にはどんな仕事があるだろう？ この著書では、書店や図書館の内部がどうなっているかの解説や、実際に書店や図書館で働く人たちのインタビューも掲載。普段、書店や図書館を利用しているときには気付かなかったことが発見できる1冊。



Teens向き

なつやす としよ 2019年夏休みすいせん図書

なつやす どくしよ
夏休みは、しっとり読書!!

おお いそ ちよう りつ と しよ かん
大磯町立図書館

0463-61-3002

「君は——天才ですよ。たくさん書いてほしいな」

文豪たちの友情



石井 千湖（いしい ちこ）／著
立東舎 254p 910.2/1

川端康成、夏目漱石、国木田独步、芥川龍之介、菊池寛、太宰治、坂口安吾、泉鏡花、中原中也、谷崎潤一郎など。明治から昭和時代にかけての文豪たちの友情にまつわるエピソードを、本人や関係者の言葉から紹介。彼らの出会いから別れまでの軌跡をたどる友情物語。

「コペル君、勇気を出して、いま君のすべきことをするんだ」

君たちはどう生きるか



吉野 源三郎（よしの げんざぶろう）／著
マガジンハウス 318p 15/3

貧困、いじめ、勇気、学問……。今も昔も変わらないテーマに人間としてどう向き合うべきか。15歳の少年・コペル君が、友人と接することや、叔父さんと対話を続ける中で、人間としてあるべき姿を追い求める。1937（昭和12）年の発売以来、長く語り継がれてきた名作の新装版。

「残念だったな。ツテナはやはり、俺が守るよ」

邪馬台戦記 I 闇の牛王



東郷 隆（とうごう りゅう）／作
佐竹 美保（さたけ みほ）／絵
静山社 279p F/ト1

3世紀初頭、弥生時代最後期。ウクイ村には暗い影がさしていた。卑弥呼の治める女王国に従わず、近隣諸国から税を取り立てるクナ国は、生口（奴隷）として少年少女をさらっていく。12歳となった少年・ススヒコは、幼馴染の少女・ツテナが生口となることを知り、自らも名乗りをあげ、クナ国へ向かう。歴史冒険小説。

「頼む。ただの試合じゃないんだ。こいつには、人の命がかかっている」

いちご同盟



三田 誠広（みた まさひろ）／著
河出書房新社 226p F/ミ

中学三年生の北沢良一は、同級生の野球部のエース・羽根木徹也を通じて、重症の腫瘍で入院中の少女・上原直美を知る。徹也は対抗試合に全力を尽くして直美を力づけ、良一もよい話し相手になって彼女を慰める。繊細な少年少女の恋愛と友情、生と死を描いた長編小説。

